

適用規格									
定 格	使用温度範囲	-45℃～ + 125℃（注1）		保存温度範囲	-10℃～ + 60℃（注2）				
	電 圧	AC 50 V		適合コネクタ	DF12#(3.0)-*DP-0.5V(**)				
	電 流	0.3 A							
性 能									
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT		
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○		
	表示	目視にて確認する。				○	○		
電氣的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。		50 mΩ 以下		○	—		
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		500 MΩ 以上		○	—		
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—		
機械的性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。			極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上	○	—
				10	19.8	1.5			
				14	21.3	2.1			
				20	23.4	2.6			
				30	27.0	3.4			
				32	27.6	3.6			
				36	29.0	4.0			
				40	30.6	4.2			
				50	34.2	5.0			
				60	38.0	6.0			
				80	45.0	7.4			
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗：50 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗：50 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	温度サイクル	温度 -65 → 15～35 → 125 → 15～35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗：50 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150～180℃ 90～120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田（リペア）の場合 】 半田ごてで 350℃、3秒の条件にて半田付け を行う。但し、端子に力を加えないこと。		外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	—		
	二酸化硫黄	濃度10ppm、96時間放置する。 （試験規格： J E I D A - 3 9 ）		①接触抵抗：50 mΩ 以下 ②はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。		①接触抵抗：50 mΩ 以下 ②はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
	備考								
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。									
(注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用されます。△2									
	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日	
△	1	DIS-H-00000882		TR. YUNOKI		TS. MIYAZAKI		15.09.01	
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402を適用している。					承認	TS. SAKATA		04.12.17	
					検 図	TS. SAKATA		04.12.17	
					担 当	AR. TAKAHASHI		04.12.15	
					製 図	YH. MICHIDA		04.12.09	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC4-163504-04			
HRS	製 品 規 格 表			製品名		DF12(3.0)-*DS-0.5V(86)			
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL537		△ 1/1	